



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社大気社 上場取引所 東  
 コード番号 1979 URL <https://www.taikisha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 考二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 靖 (TEL) 03-5338-5051  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	85,779	△7.2	3,847	39.2	4,657	30.9	2,443	44.8
2022年3月期第2四半期	92,413	13.3	2,763	△13.4	3,558	△4.2	1,687	△45.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,706百万円(40.6%) 2022年3月期第2四半期 3,347百万円(△28.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	71.79	—
2022年3月期第2四半期	49.52	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	205,471	133,233	61.6
2022年3月期	228,159	130,788	54.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 126,587百万円 2022年3月期 124,695百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	70.00	100.00
2023年3月期	—	50.00			
2023年3月期(予想)			—	71.00	121.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	212,500	1.5	10,800	14.5	12,000	10.9	8,600	18.6	252.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	35,082,009株	2022年3月期	35,082,009株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,216,128株	2022年3月期	998,559株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	34,037,349株	2022年3月期2Q	34,074,861株

(注) 当社は、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、期末自己株式数には、本信託に係る信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期2Q 120,700株、2022年3月期 120,700株)が含まれております。  
 また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の算定上控除する自己株式(2023年3月期2Q 120,700株、2022年3月期2Q 129,671株)に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2022年11月15日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	12
(1) 四半期貸借対照表 (個別)	12
(2) 四半期損益計算書 (個別)	14
4. 補足情報	15
(1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (連結)	15
(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (個別)	16
(3) 地域に関する情報	17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進む一方、ウクライナ危機の長期化に伴う資源価格の高騰、欧米におけるインフレ加速に伴う政策金利の引き上げ、米中の緊張関係の高まりなど、先行き不透明な状況が続きました。

米国では、雇用関係は堅調なもの、インフレの進行や金融引き締めなどを背景に、景気後退の懸念が高まりました。欧州においては、エネルギー価格の高騰やロシアからのエネルギー輸入制限等が経済活動の制約となり、景況感が悪化しました。中国では、ゼロコロナ政策の継続により、成長が鈍化しました。東南アジアでは、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着き、景気の回復傾向が続きました。日本経済は、足元では急速な円安の進行やエネルギー価格の高騰などにより、先行きは不透明な状況ですが、景気持ち直しの動きが続きました。

当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場では電子部品や医薬品などのメーカーによる投資が好調であり、首都圏におけるオフィスビルの建設需要や自動車メーカーによる投資も堅調に推移しました。一方、海外市場では新型コロナウイルス感染症や資源価格の高騰などの影響による不透明感が依然続いているものの、各メーカーによる設備投資は回復傾向が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における受注工事高は、国内・海外ともに増加し、1,620億43百万円(前年同期比84.3%増加)となり、うち海外の受注工事高は、569億85百万円(前年同期比71.0%増加)となりました。

完成工事高は、国内は増加したものの海外は減少し、857億79百万円(前年同期比7.2%減少)となり、うち海外の完成工事高は、318億41百万円(前年同期比28.1%減少)となりました。

利益面につきましては、完成工事総利益は134億7百万円(前年同期比3億97百万円増加)、営業利益は38億47百万円(前年同期比10億84百万円増加)、経常利益は46億57百万円(前年同期比10億99百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億43百万円(前年同期比7億56百万円増加)となりました。

セグメントごとの業績(セグメント間の内部取引高を含む)は次のとおりであります。

#### 環境システム事業

受注工事高は、国内の産業空調および、台湾、シンガポールなどで増加したことにより、前年同期を上回りました。完成工事高は国内の産業空調および、フィリピンなどで増加したことにより、前年同期を上回りました。

この結果、受注工事高は、1,266億1百万円(前年同期比106.0%増加)となりました。このうちビル空調分野は、195億74百万円(前年同期比20.3%減少)、産業空調分野は、1,070億27百万円(前年同期比190.1%増加)となりました。完成工事高は、675億46百万円(前年同期比15.1%増加)となりました。このうちビル空調分野は、175億36百万円(前年同期比11.8%減少)、産業空調分野は、500億10百万円(前年同期比28.8%増加)となりました。セグメント利益(経常利益)につきましては、53億35百万円(前年同期比19億75百万円増加)となりました。

#### 塗装システム事業

受注工事高は、国内、中国およびインドなどで増加し、前年同期を上回りました。完成工事高は、欧州、北米および国内などで減少し、前年同期を下回りました。

この結果、受注工事高は、354億41百万円(前年同期比33.9%増加)となりました。完成工事高は、182億35百万円(前年同期比45.9%減少)となりました。セグメント損失(経常損失)につきましては、10億37百万円(前年同期はセグメント損失4億9百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末に比べ9.4%減少し、1,524億1百万円となりました。これは有価証券が29億円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が171億38百万円、現金預金が107億12百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は前連結会計年度末に比べ11.5%減少し、530億70百万円となりました。これは投資有価証券が37億3百万円、有形固定資産が22億14百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ9.9%減少し、2,054億71百万円となりました。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は前連結会計年度末に比べ24.3%減少し、619億83百万円となりました。これは未成工事受入金が30億86百万円、賞与引当金が18億57百万円それぞれ増加し、短期借入金が123億円、支払手形・工事未払金等が108億55百万円、未払法人税等が12億42百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は前連結会計年度末に比べ33.8%減少し、102億54百万円となりました。これは、長期借入金が55億57百万円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ25.8%減少し、722億37百万円となりました。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ1.9%増加し、1,332億33百万円となりました。これは為替換算調整勘定が42億76百万円、利益剰余金が8億99百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が19億55百万円、自己株式の取得により7億11百万円それぞれ減少したことなどによります。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結結果計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ79億26百万円減少し、408億64百万円(前年同期末は454億3百万円)となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少などにより増加したものの、仕入債務の減少や法人税等の支払などにより、59億59百万円の資金減少(前年同期は105億49百万円の資金減少)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入や定期預金の払戻による収入などにより増加したものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出や定期預金の預入による支出などにより、8億56百万円の資金減少(前年同期は7億11百万円の資金減少)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、自己株式の純増減額や非支配株主への配当金の支払などにより、36億96百万円の資金減少(前年同期は48億39百万円の資金増加)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日に発表した通期の業績予想について変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	49,085	38,372
受取手形・完成工事未収入金等	104,956	87,817
有価証券	3,000	5,900
未成工事支出金	1,775	1,950
材料貯蔵品	1,007	1,200
その他	9,084	17,646
貸倒引当金	△718	△486
流動資産合計	168,190	152,401
固定資産		
有形固定資産	11,243	9,028
無形固定資産		
のれん	3,966	4,174
顧客関連資産	1,334	1,379
その他	2,081	1,373
無形固定資産合計	7,381	6,927
投資その他の資産		
投資有価証券	29,605	25,902
繰延税金資産	520	483
退職給付に係る資産	8,909	8,661
その他	2,710	2,522
貸倒引当金	△401	△456
投資その他の資産合計	41,344	37,113
固定資産合計	59,969	53,070
資産合計	228,159	205,471
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	47,102	36,246
短期借入金	15,535	3,235
未払法人税等	1,672	429
未成工事受入金	6,901	9,987
賞与引当金	—	1,857
完成工事補償引当金	714	663
工事損失引当金	392	228
役員賞与引当金	43	—
その他	9,524	9,334
流動負債合計	81,886	61,983
固定負債		
長期借入金	5,605	47
繰延税金負債	7,877	8,099
役員退職慰労引当金	44	50
役員株式給付引当金	145	145
退職給付に係る負債	1,462	1,578
その他	349	331
固定負債合計	15,484	10,254
負債合計	97,371	72,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金	5,058	5,058
利益剰余金	99,893	100,792
自己株式	△2,544	△3,255
株主資本合計	108,862	109,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,908	9,952
繰延ヘッジ損益	△25	△92
為替換算調整勘定	2,017	6,293
退職給付に係る調整累計額	1,932	1,383
その他の包括利益累計額合計	15,833	17,536
非支配株主持分	6,092	6,646
純資産合計	130,788	133,233
負債純資産合計	228,159	205,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
完成工事高	92,413	85,779
完成工事原価	79,403	72,372
完成工事総利益	13,009	13,407
販売費及び一般管理費	10,246	9,559
営業利益	2,763	3,847
営業外収益		
受取利息	105	104
受取配当金	330	364
保険配当金	157	178
不動産賃貸料	65	59
為替差益	55	31
貸倒引当金戻入額	0	—
持分法による投資利益	0	—
その他	232	259
営業外収益合計	947	999
営業外費用		
支払利息	114	68
不動産賃貸費用	6	7
貸倒引当金繰入額	—	5
持分法による投資損失	—	84
その他	30	22
営業外費用合計	152	188
経常利益	3,558	4,657
特別利益		
固定資産処分益	9	8
投資有価証券売却益	492	1,450
関係会社株式売却益	—	881
特別利益合計	502	2,341
特別損失		
固定資産処分損	44	35
減損損失	0	0
事業構造改善費用	—	2,461
特別損失合計	44	2,497
税金等調整前四半期純利益	4,016	4,502
法人税、住民税及び事業税	464	918
法人税等調整額	1,690	908
法人税等合計	2,155	1,827
四半期純利益	1,861	2,675
非支配株主に帰属する四半期純利益	174	231
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,687	2,443



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,861	2,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	△1,955
繰延ヘッジ損益	△45	△67
為替換算調整勘定	1,184	4,533
退職給付に係る調整額	126	△545
持分法適用会社に対する持分相当額	39	66
その他の包括利益合計	1,486	2,031
四半期包括利益	3,347	4,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,008	3,873
非支配株主に係る四半期包括利益	339	833

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,016	4,502
減価償却費	1,276	986
のれん償却額	204	231
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	19
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△99	△174
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	5
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△65	—
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△254	△233
受取利息及び受取配当金	△436	△469
支払利息	114	68
固定資産処分損益 (△は益)	34	26
投資有価証券売却損益 (△は益)	△492	△1,450
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△881
事業構造改善費用	—	2,461
売上債権の増減額 (△は増加)	11,550	6,016
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△389	△206
未収入金の増減額 (△は増加)	△186	0
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,557	△8,977
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△3,586	3,581
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,206	△482
預り金の増減額 (△は減少)	△96	△4
未払費用の増減額 (△は減少)	△581	△327
その他	△6,267	△6,288
小計	△9,048	△1,595
利息及び配当金の受取額	436	469
利息の支払額	△114	△68
法人税等の支払額	△1,822	△2,303
事業構造改善費用の支払額	—	△2,461
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,549	△5,959

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,203	△1,934
定期預金の払戻による収入	2,384	1,992
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,594	△1,072
有形及び無形固定資産の売却による収入	100	40
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	565	2,376
投資有価証券の償還による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△2,248
長期貸付けによる支出	△14	△23
長期貸付金の回収による収入	34	28
保険積立金の積立による支出	△0	△0
その他	17	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△711	△856
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,705	△137
長期借入れによる収入	2,339	1
長期借入金の返済による支出	△1,079	△103
リース債務の返済による支出	△51	△53
自己株式の純増減額 (△は増加)	51	△711
配当金の支払額	△2,052	△2,388
非支配株主への配当金の支払額	△68	△304
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,839	△3,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,154	2,585
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,267	△7,926
現金及び現金同等物の期首残高	50,670	48,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,403	40,864

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当社は2022年4月19日に、保有するGeico S.p.A. (以下「Geico」という)の株式の一部の譲渡契約を締結し、2022年4月20日に当該譲渡手続きが完了いたしました。これにより、Geicoとその連結子会社であるJ-CO America Corporation、J-CO Mexico,S.de R.L.de C.V.、Geico Brasil Ltda.、Geico Paint Shop India Private Limited、Geico Painting System (Suzhou) Co.,Ltd.、「Geico Russia」LLC、Geico Taikisha GmbH、Geico Taikisha Controls d.o.o.、Process Solution Partner Rus LLCは、第1四半期連結会計期間より当社グループの連結範囲から除外されることとなりました。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書における「(追加情報)新型コロナウイルス感染症拡大の影響について」に記載した仮定について、重要な変更はありません。

(自己株式の取得)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、以下のとおり実施しております。

(1) 自己株式の取得を行う理由

株主還元の拡充と資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式の取得を行うものです。

(2) 取得に係る事項の内容

① 取得対象株式の種類	当社普通株式
② 取得し得る株式の総数	1,200,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.51%)
③ 株式の取得価額の総額	3,000百万円(上限)
④ 取得期間	2022年8月12日～2023年3月31日
⑤ 取得方法	信託方式による市場買付

(3) 自己株式の取得の状況

上記の買付けにより、2022年9月30日までに当社普通株式217,500株を710百万円で取得しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	58,709	33,704	92,413	—	92,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	58,709	33,704	92,413	—	92,413
セグメント利益又は損失(△)	3,359	△409	2,949	608	3,558

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額608百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)608百万円及びその他の調整額△0百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	67,545	18,234	85,779	—	85,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1	2	△2	—
計	67,546	18,235	85,782	△2	85,779
セグメント利益又は損失(△)	5,335	△1,037	4,297	360	4,657

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額360百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)360百万円及びその他の調整額△0百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の減少による資産の著しい減少)

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度まで連結子会社でありましたGeico S.p.A. (以下「Geico」という)の株式の一部を譲渡したことに伴い、Geico及びその連結子会社であるJ-CO America Corporation、J-CO Mexico, S. de R.L. de C.V.、Geico Brasil Ltda.、Geico Paint Shop India Private Limited、Geico Painting System (Suzhou) Co., Ltd.、”Geico Russia” LLC、Geico Taikisha GmbH、Geico Taikisha Controls d.o.o.、Process Solution Partner Rus LLCを連結の範囲から除外しております。

これを主因として、前連結会計年度末に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「塗装システム事業」のセグメント資産が25,667百万円減少しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものであります。

(1) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	22,145	14,482
受取手形・完成工事未収入金等	62,678	61,923
有価証券	3,000	5,900
未成工事支出金	36	98
材料貯蔵品	183	202
その他	4,896	10,174
貸倒引当金	△238	△233
流動資産合計	92,702	92,547
固定資産		
有形固定資産	3,758	3,697
無形固定資産	872	1,300
投資その他の資産		
投資有価証券	29,033	25,332
関係会社株式	14,454	14,454
前払年金費用	6,116	6,416
その他	1,659	1,659
貸倒引当金	△3	△9
投資その他の資産合計	51,260	47,853
固定資産合計	55,890	52,851
資産合計	148,593	145,399
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	27,458	24,811
短期借入金	2,522	2,223
未払法人税等	971	255
未成工事受入金	1,228	1,716
賞与引当金	—	1,782
完成工事補償引当金	203	207
工事損失引当金	321	133
役員賞与引当金	40	—
事業構造改善引当金	2,461	—
その他	5,421	6,605
流動負債合計	40,629	37,735
固定負債		
長期借入金	100	44
繰延税金負債	4,377	4,640
退職給付引当金	114	145
役員株式給付引当金	145	145
その他	115	141
固定負債合計	4,852	5,116
負債合計	45,482	42,852

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金	7,413	7,413
利益剰余金	79,902	82,073
自己株式	△2,544	△3,255
株主資本合計	91,227	92,687
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,908	9,952
繰延ヘッジ損益	△24	△92
評価・換算差額等合計	11,883	9,859
純資産合計	103,110	102,546
負債純資産合計	148,593	145,399

(2) 四半期損益計算書 (個別)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
完成工事高	47,810	53,468
完成工事原価	39,701	44,177
完成工事総利益	8,109	9,291
販売費及び一般管理費	5,956	6,243
営業利益	2,153	3,048
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	945	957
不動産賃貸料	100	94
為替差益	—	60
技術指導料	621	535
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	237	189
営業外収益合計	1,906	1,839
営業外費用		
支払利息	6	8
不動産賃貸費用	16	17
為替差損	24	—
貸倒引当金繰入額	—	5
その他	9	9
営業外費用合計	56	40
経常利益	4,003	4,846
特別利益		
投資有価証券売却益	492	1,450
関係会社株式売却益	—	0
特別利益合計	492	1,450
特別損失		
固定資産処分損	41	33
減損損失	0	0
関係会社株式評価損	59	—
特別損失合計	101	33
税引前四半期純利益	4,395	6,264
法人税、住民税及び事業税	229	585
法人税等調整額	967	1,113
法人税等合計	1,196	1,699
四半期純利益	3,199	4,565



4. 補足情報

(1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (連結)

区分	前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)	
受注工事高							
環境システム事業							
ビル空調	24,557	27.9	19,574	12.1	△4,982	△20.3	
産業空調	36,894	42.0	107,027	66.0	70,132	190.1	
小計	61,452	69.9	126,601	78.1	65,149	106.0	
(うち海外)	(13,373)	(15.2)	(37,718)	(23.3)	(24,344)	(182.0)	
塗装システム事業	26,477	30.1	35,441	21.9	8,963	33.9	
(うち海外)	(19,949)	(22.7)	(19,267)	(11.9)	(△682)	(△3.4)	
合計	87,929	100.0	162,043	100.0	74,113	84.3	
(うち海外)	(33,323)	(37.9)	(56,985)	(35.2)	(23,662)	(71.0)	
完成工事高							
環境システム事業							
ビル空調	19,885	21.5	17,536	20.4	△2,348	△11.8	
産業空調	38,824	42.0	50,009	58.3	11,184	28.8	
小計	58,709	63.5	67,545	78.7	8,836	15.1	
(注)2,3	(18,096)	(19.6)	(19,034)	(22.2)	(938)	(5.2)	
(うち海外)							
塗装システム事業	(注)2,3	33,704	36.5	18,234	21.3	△15,469	△45.9
(うち海外)		(26,176)	(28.3)	(12,806)	(14.9)	(△13,370)	(△51.1)
合計		92,413	100.0	85,779	100.0	△6,633	△7.2
(うち海外)		(44,272)	(47.9)	(31,841)	(37.1)	(△12,431)	(△28.1)
繰越工事高							
環境システム事業							
ビル空調	55,099	32.3	54,816	21.2	△283	△0.5	
産業空調	66,262	38.9	150,055	57.9	83,792	126.5	
小計	121,362	71.2	204,871	79.1	83,509	68.8	
(うち海外)	(33,218)	(19.5)	(55,005)	(21.2)	(21,786)	(65.6)	
塗装システム事業		49,121	28.8	54,117	20.9	4,996	10.2
(うち海外)		(41,161)	(24.1)	(27,466)	(10.6)	(△13,695)	(△33.3)
合計		170,483	100.0	258,989	100.0	88,505	51.9
(うち海外)		(74,380)	(43.6)	(82,471)	(31.8)	(8,091)	(10.9)

(注) 1 受注工事高、完成工事高及び繰越工事高は、外部顧客に対する取引金額となっております。

2 前第2四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高とセグメント情報における環境システム事業の売上高、及び塗装システム事業の完成工事高とセグメント情報における塗装システム事業の売上高との差異はありません。

3 当第2四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高67,545百万円とセグメント情報における環境システム事業の売上高67,546百万円との差異1百万円は、セグメント間の内部売上高であります。また、塗装システム事業の完成工事高18,234百万円とセグメント情報における塗装システム事業の売上高18,235百万円との差異1百万円は、セグメント間の内部売上高であります。

(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (個別)

区分	前第2四半期 累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期 累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	23,220	42.6	16,588	16.0	△6,631	△28.6
産業空調	23,510	43.2	69,458	66.9	45,947	195.4
小計	46,731	85.8	86,046	82.9	39,315	84.1
(うち海外)	(70)	(0.1)	(246)	(0.2)	(176)	(251.7)
塗装システム事業	7,716	14.2	17,748	17.1	10,031	130.0
(うち海外)	(2,095)	(3.9)	(2,116)	(2.1)	(21)	(1.0)
合計	54,448	100.0	103,795	100.0	49,346	90.6
(うち海外)	(2,165)	(4.0)	(2,363)	(2.3)	(197)	(9.1)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	18,615	38.9	16,571	31.0	△2,044	△11.0
産業空調	20,867	43.7	30,920	57.8	10,053	48.2
小計	39,482	82.6	47,492	88.8	8,009	20.3
(うち海外)	(204)	(0.4)	(48)	(0.1)	(△155)	(△76.2)
塗装システム事業	8,328	17.4	5,976	11.2	△2,351	△28.2
(うち海外)	(1,885)	(4.0)	(1,375)	(2.6)	(△509)	(△27.0)
合計	47,810	100.0	53,468	100.0	5,657	11.8
(うち海外)	(2,089)	(4.4)	(1,424)	(2.7)	(△665)	(△31.8)
繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	54,209	55.4	52,086	29.0	△2,123	△3.9
産業空調	33,045	33.7	95,216	53.1	62,171	188.1
小計	87,255	89.1	147,302	82.1	60,047	68.8
(うち海外)	(37)	(0.0)	(200)	(0.1)	(162)	(431.0)
塗装システム事業	10,639	10.9	32,124	17.9	21,484	201.9
(うち海外)	(3,384)	(3.5)	(5,766)	(3.2)	(2,382)	(70.4)
合計	97,895	100.0	179,426	100.0	81,531	83.3
(うち海外)	(3,421)	(3.5)	(5,967)	(3.3)	(2,545)	(74.4)

(3) 地域に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
48,140	9,330	9,085	8,129	5,230	975	4,612

その他 (百万円)	合計 (百万円)
6,908	92,413

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
53,938	3,467	7,134	9,702	4,740	676	5,729

その他 (百万円)	合計 (百万円)
390	85,779